

吉備路マラソン参加報告

去る12月4日、ラヴィール岡山において忘年例会が開催されました。テーマは「人感謝」といふつもお世話になつてゐるあなたたむに」ということで、10頃お世話をなつてゐる方を同伴で参加頂きました。

ご夫婦参加は1組、それ以外の男女カップルは7組、総勢89名でした。若かりし日の写真、真当でクイズ、ワインと日本酒の利き酒、最後にじんやさんによる車列で会場がひとつになりナウ設計の奥様、恵美子さん、が勝利の雄叫びをあげ盛り上がりも最高潮のまます山本毅睦委員長のお上品な一本締めで閉会となりました。



五、用2金屬瞬時線之報告

小気味良い反発音の中、総務・広報委員会主催の第3回大ビンボン大会が両備ボールにて多くの方々に参加いただき、20名で開催されました。二人1組、10チーム、20名が3つのアーチャーに分かれての対抗戦になりました。無作為に選抜された、各チームが3試合づつでの勝ち点により緊迫感のある試合でした。一等賞を選びたため、勝ち点での上位5チームが準決勝・決勝とゲームを行いました。(ご参加いただいたみなさま、いろいろな汗をかかれていました)。激戦の末、魔球を扱う、丸岡・柴田亮子ペアが(等賞)を受賞され、柴田晴夫・横田ペアが受賞され、代表所長は参加女性へとなりました。表彰式の後、懇親会会場へ場所を移し親睦を図りました。

平成26年2月23日（日）総エントリー者数1万9千人もの人が参加した中国地方で最大級のマラソン大会に、OKCから昨年度初参加し今年度も参加しました。今年度も、早春にふさわしい穏やかなお天気で賑わった青空の下、会場全体大変に盛り上がりをみせていました。OKCチームは、参加者38名と昨年度以上の参加者で、5kmへの出場と10kmの種目で2名が参加しました。「一スは総社の街中から吉備路の田園風景にかけての景色の良いコースで、応援団に駆けつけて頂いた皆さんの沿道からの声援に元気を頂きいつも以上の力を發揮し皆が完走を果たしました。そして応援に駆けつけた赤木代表幹事もなんとみんなにせかされ歩きいきました。

平成20年3月19日、全日本空手アートにて平成20年度総会が開催され正会員、賛助会員として新役員が選出されました。そこでこの選ばれた幹事は土田利行氏、副代表幹事は齊藤仁昭氏、森茂樹氏、幹事長は藤井将登氏に決定しました。  
その後岡山理科大学 江面嗣人教授による講演会「岡山における近代と風建築の可能性」が開催されました。総合調査を終えての報告から、近代和風建築の定義・調査の目的、調査物件紹介、文化財建造物の保護制度、これから文化財の扱い方等説明がありました。まとめとして現在のまちづくりは歴史的・文化的特徴を本質を理解しないままに、建物の改修等が行われており結果として『文化的破壊』が進行している。これからまちづくりはそこに住む市民の意志により『この街の歴史を滅ぼさない』こと、『この街を守らなければなりません』こと、『親睦委員会が梅見会で見学した旧伊原木邸の紹介もあり、設計クラブの事業の有効性を再認識させられる内容でした。

OKC川柳  
お題「バレンタインデー」

邸見学の報告



「二」が知りたい勉強会

かつたのです。次の移動は路線バスです。乗り遅れると。・・・1時間2時間後です。小高い丘一面が梅の花。坂を上り始めるとすぐに良い香りが漂ってきます。涼とした香りが身を引き締めます。清楚で高貴、香気に酔いました。しだれ桜の下では酒盛りをき、見応えがありました。梅の花の下では酒盛りを誰もしていないのが不思議でした。梅見はさっと終わる、五福通りを散策。後は懇親会となりました。(元幹事長の徳山氏の一言で、西大寺へようこそお越しいただき有り難うございました。かつて商業で栄え今は街の活性化で懸命の西大寺、いかがだつたでしょうか？)

親睦委員長

山本  
幸子

見かえりを 求める妻の チココレイート（雅そう同人）  
バレンタイン 息子髪型 勝負の日（俺の息子はストライカー）  
雪のせい いただいた愛 一つだけ（真魚丸）  
まだ寒い いつか会える 本命に（待ちぼうけ）  
義理チヨコは 痛し痒しの 高金利（義理チヨコっぽい）  
バレンタイン 娘にもらう 毒（味）味子ヨコ（駄目親父）  
マスオさん チヨコくれたのは 妻と二人の娘だけ（歌人）  
義理チヨコと 思えど嬉し バレンタイン（歌迷）  
今年1つ 義理とわかるが 笑こばれる  
バレンタインデー アベノミクス 効果なし（仙人）  
ダイエット？ チロルでええか 低カロリー（中年A）  
2月14日 围りはみんな 忘れれた（お粗末）  
えつ今日 ❤ 街のみんなが ハート色（親父ギヤグ）  
下駄箱も 引き出し見ても 何も無し（B&B istano）  
それですか 私はいつも 伝返し（勘違い仙人）  
いつもそう その日はいつも 通り過ぎ（春待人）